

作成年月日：平成 23 年 8 月 10 日

電波防護指針に基づく電界強度確認表（アマチュア用）							氏名：藤原 誠		
							コールサイン：JA1XMS		
周波数帯	1.9MHz帯	3.5MHz帯	3.8MHz帯	7 MHz帯	14 MHz帯	21 MHz帯	28 MHz帯	50 MHz帯	
定格電力 P [W]	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	
給電線損 [dB]									
空中線利得 G [dBi]	2.20	2.20	2.20	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
平均電力率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
俯角減衰量 [dB]									
空中線高 [m]	1.0	1.0	1.0	10.0	12.0	25.0	30.0	30.0	
空中線地上距離 [m]	2.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
空中線直線距離 R [m]	2.24	10.05	10.05	14.14	15.62	26.93	31.62	31.62	
空中線の形式	dipole	dipole	dipole	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	
俯角 [°]	26.57	5.7	5.7	45.0	50.2	68.2	71.6	71.6	
最小安全距離 [m]	1.62	1.94	2.06	6.68	13.51	20.19	27.95	28.20	
強い反射物の有無	0	0	0	0	0	0	0	0	
算出電界強度 E [V/m]	199.58	44.41	44.41	54.84	49.65	28.80	24.52	24.52	
基準値 [V/m]	275.00	230.49	216.56	116.06	57.42	38.41	27.74	27.50	
判 定	○	○	○	○	○	○	○	○	

注 1 表中の数値は、ダミー値です。それぞれ実測値等を入力してください。また、周波数帯は、適宜追加、削除してください。

注 2 算出電界強度 E [V/m] は、大地反射係数 (7.6 MHz 未満は「4」、7.6 MHz 以上は「2.56」) を考慮しています。

なお、電波発射源近辺にビル等、強い反射を生じさせる建造物がある場合は、当該欄に「1」を、ない場合は「0」を入力してください。

注 3 空中線地上距離 [m] は、空中線を地上に投影した地点から道路、隣家との境界線等までの距離としてください。空中線が回転する場合は回転を考慮し、一番近い距離としてください。 また、空中線の高さは、実際の空中線高から 2 m を引いた値としてください。

注 4 平均電力率は、電波の型式が A 1 A の場合は「0.5」、J 3 E の場合は「0.16」、その他の場合は「1」（組み合わせる場合は大きい数値）としてください。

注 5 ビームアンテナの場合は、俯角減衰量を考慮することが出来ます。俯角減衰量を考慮した場合は、その根拠となる垂直面指向特性の資料を添付して下さい。 また、短縮アンテナを使用する場合は、エレメントの長さ、空中線利得が記載された取説等の当該箇所のコピーを添付して下さい。

基本式： $E = \sqrt{(3770 S)} [V/m]$

但し、 S [電力束密度] = $PGK / 40 \pi R^2$ [mW/cm²] P = 空中線電力[W] G = 空中線利得[真値] K = 反射係数 R = 空中線までの直線距離 [m]